

## 「市バス・京都バス一日乗車券カードの価格適正化及び 京都観光一日乗車券等の値下げ」の検討に至った経過と目的について

市バス・京都バス一日乗車券カード（以下「一日乗車券カード」という。）は、平成12年に700円から500円に大幅に値下げして以降、平成26年の消費税率引上げに伴い、市バスの普通運賃を220円から230円に改定した時も発売価格を据え置く一方で、市バスの均一運賃区間拡大による利用範囲の広がりや、均一運賃区間内の京都バスにも御利用できるようになるなど、一日乗車券カードの利用価値は格段に高まっています。

また、この一日乗車券カードを御利用のお客様は、平均で4回以上御乗車いただいていることから、1回当たりの運賃が125円と、普通運賃（均一運賃区間230円）と比べて大きな価格差が生じています。

さらに、平成12年度に100万枚であった一日乗車券カードの発売枚数は平成27年度には614万枚と突出して増加しており、結果として、観光客の皆様が市バスに集中しています。一方、地下鉄にも御乗車いただける京都観光一日乗車券（二日乗車券等を含む。）の発売枚数は、近年ほぼ同数で推移しており、市バスの混雑緩和と、市バス・地下鉄を上手にお使いいただけるような対策が必要となっています。

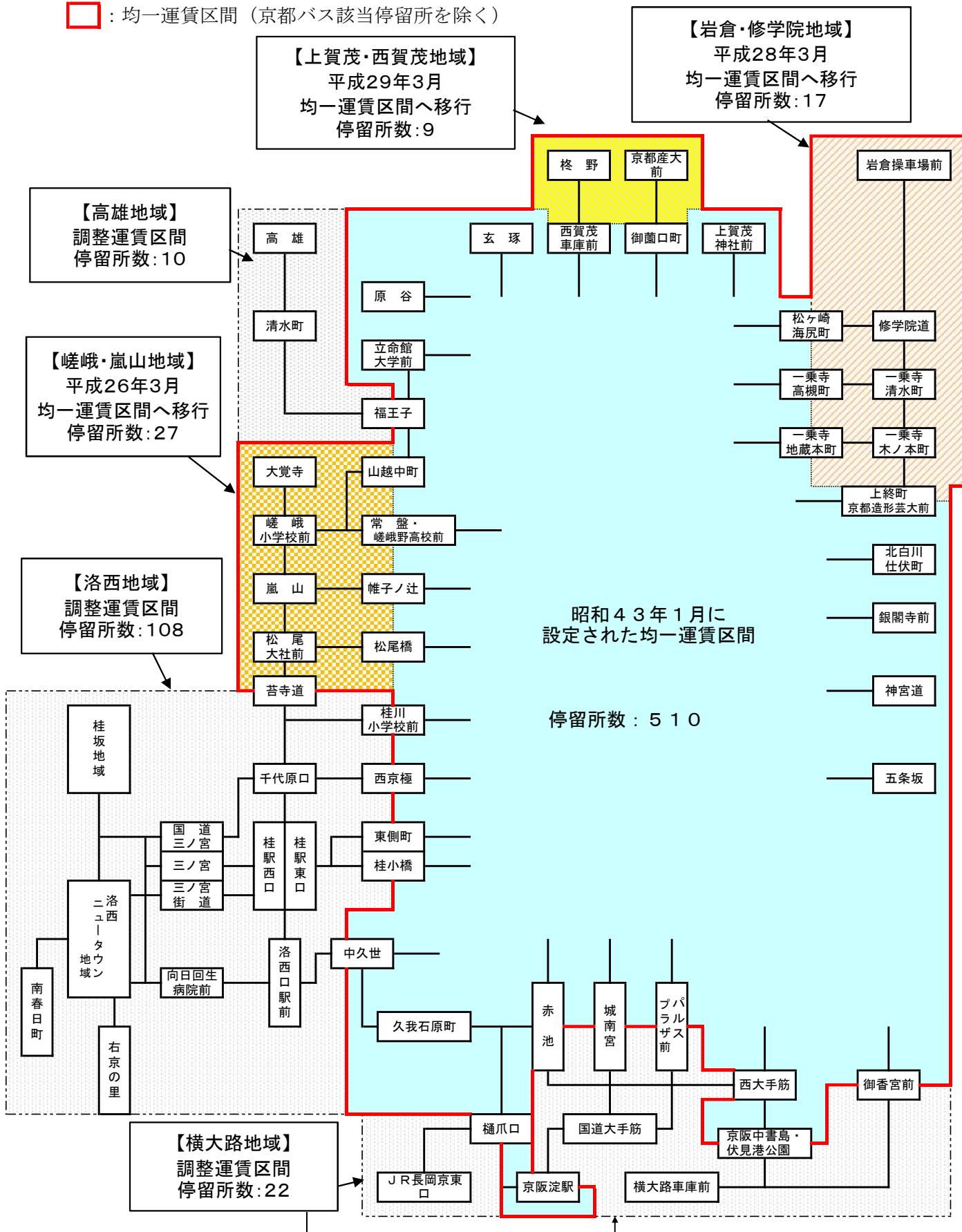
## 市バス・京都バス一日乗車券カード及び京都観光一日乗車券等の概要

	市バス・京都バス一日乗車券カード	京都観光一日乗車券等
発売価格	500円	1,200円 (二日券2,000円)
乗車可能エリア	・市バス均一運賃区間（区間内の京都バスも乗車可能）	市バス全線 地下鉄全線 京都バス主要路線（一部区間を除く）
特長	・1日乗り放題 ・均一運賃の230円で3回乗車するよりも安い発売価格	・1日乗り放題 ・バスと地下鉄を利用した効率的な移動が可能 ・大原地域（京都バス）も乗車可能 ・二日券（2,000円）も発売
沿革	平成7年1月 通年発売開始（600円） 平成8年9月 発売価格の見直し （600円→700円） 平成12年4月 発売価格の見直し （700円→500円） 平成26年3月 ・嵯峨・嵐山地域への均一運賃区間拡大に伴う利用範囲の拡大 ・均一運賃区間内での京都バス共通利用化 （同時に現行名称に変更） 平成28年3月 岩倉・修学院地域への均一運賃区間拡大に伴う利用範囲の拡大 平成29年3月 上賀茂・西賀茂地域への均一運賃区間拡大に伴う利用範囲の拡大	昭和58年3月 一日券発売開始（890円） 昭和61年10月 発売価格の見直し （890円→960円） 平成2年3月 発売価格の見直し （960円→1,050円） 平成3年6月 二日券発売開始（2,000円） 平成6年4月 発売価格の見直し （1,050円→1,200円）
備考	—	・私鉄や民間バスの一乗車券と京都観光一日乗車券が、タイアップした各種企画券もある（発売価格、乗車可能エリアは、それぞれ異なる）。 ・いい古都チケット(阪急) ・京阪みやこ漫遊チケット(京阪) ・京めぐり(近鉄) など

### 市バスの運賃及び均一運賃区間エリアについて

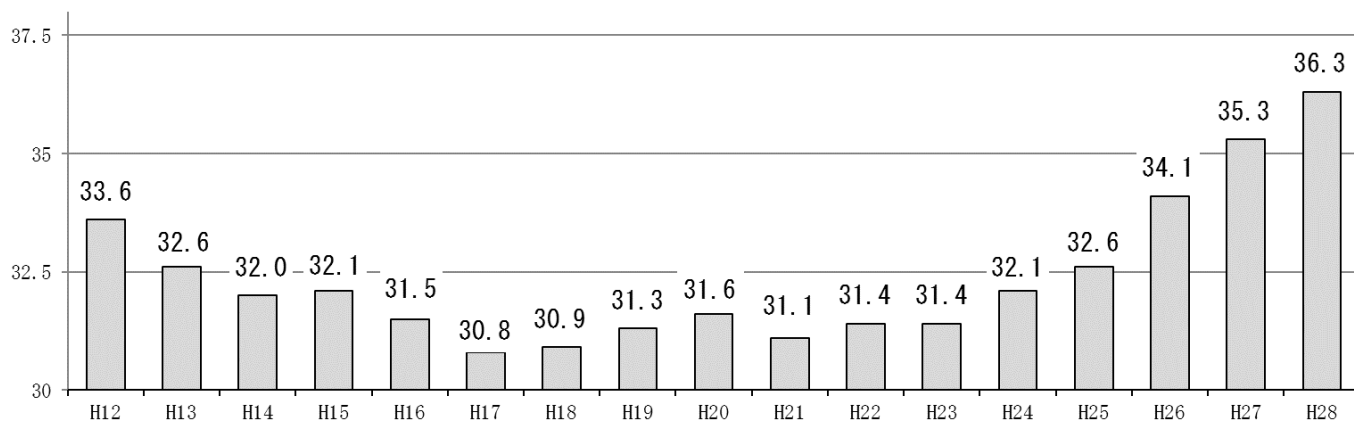
- 均一運賃区間：230円（均一運賃区間内の停留所はどこで乗り降りしても230円）
- 調整運賃区間：150円～520円（当該エリアで先に運行していた民間事業者の運賃と揃えることとされており，乗り降りする停留所によって運賃が変わります。）

□：均一運賃区間（京都バス該当停留所を除く）



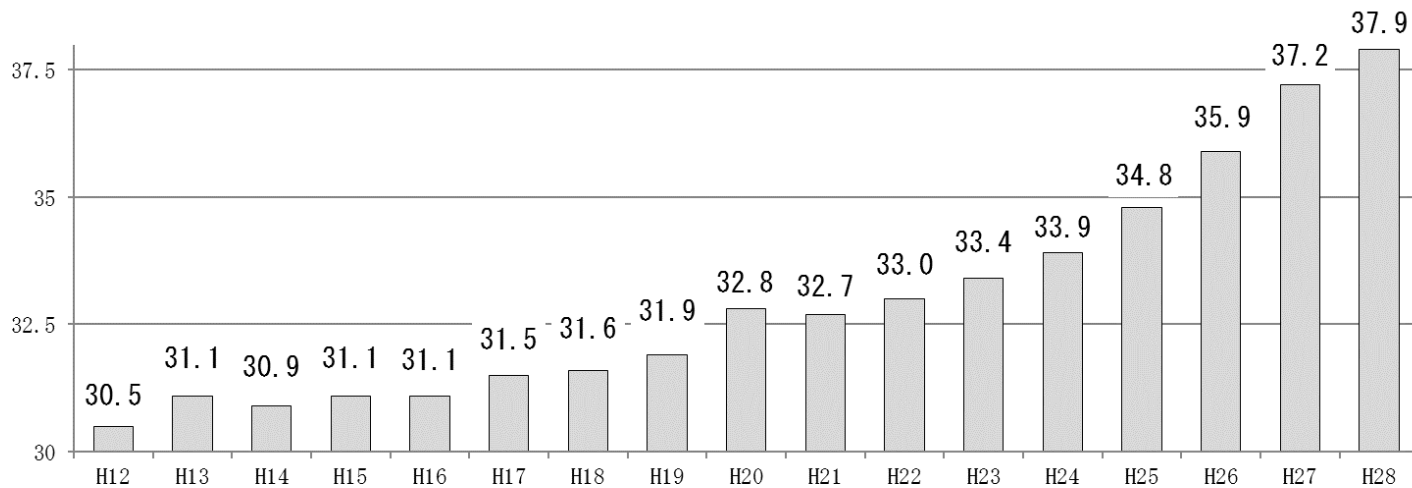
※停留所数は，平成29年3月31日現在

市バスの1日当たりのお客様数の推移（平成12年度～28年度）



※平成28年度の数値は速報値

【(参考) 地下鉄の1日当たりのお客様数の推移（平成12年度～28年度）】



※平成28年度の数値は速報値

### 市バス・京都バス一日乗車券カード及び京都観光一日乗車券等の御利用状況

#### 1 発売枚数

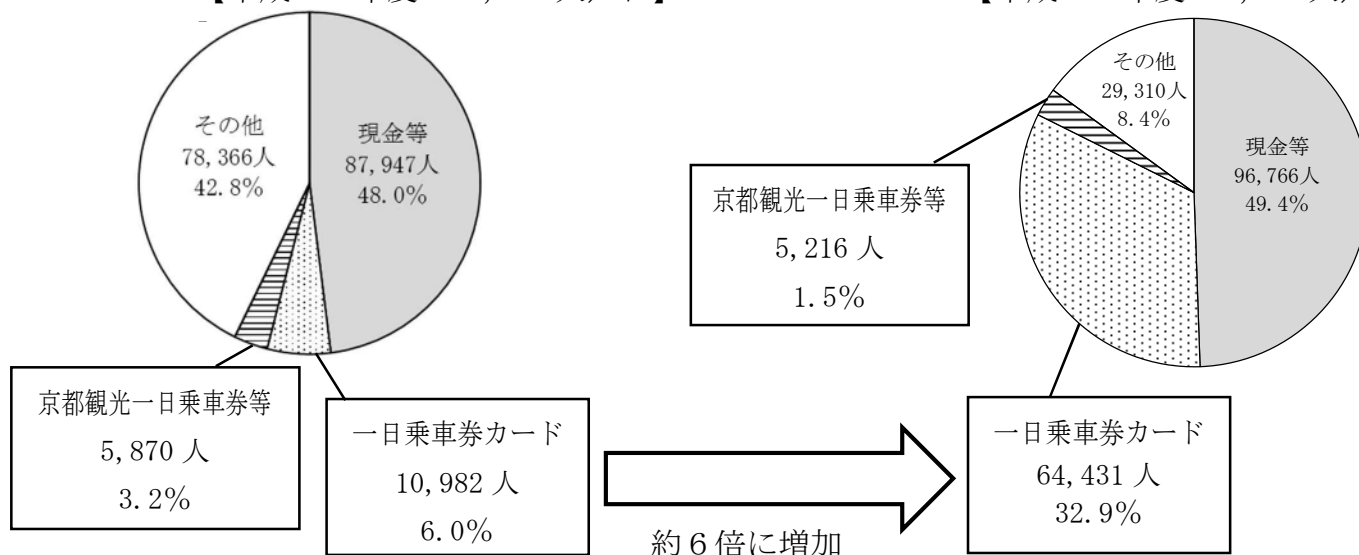
	平成12年度	平成27年度	増加率
一日乗車券カード	100万枚	614万枚	514%
京都観光一日乗車券等	44万枚	49万枚	11%

#### 2 定期外のお客様が御利用されている乗車券の内訳

##### (1) 1日当たりのお客様数の内訳(定期外)

【平成12年度 183,165人/日】

【平成27年度 195,723人/日】



(参考) 定期券等を含む全体のお客様数

平成12年度

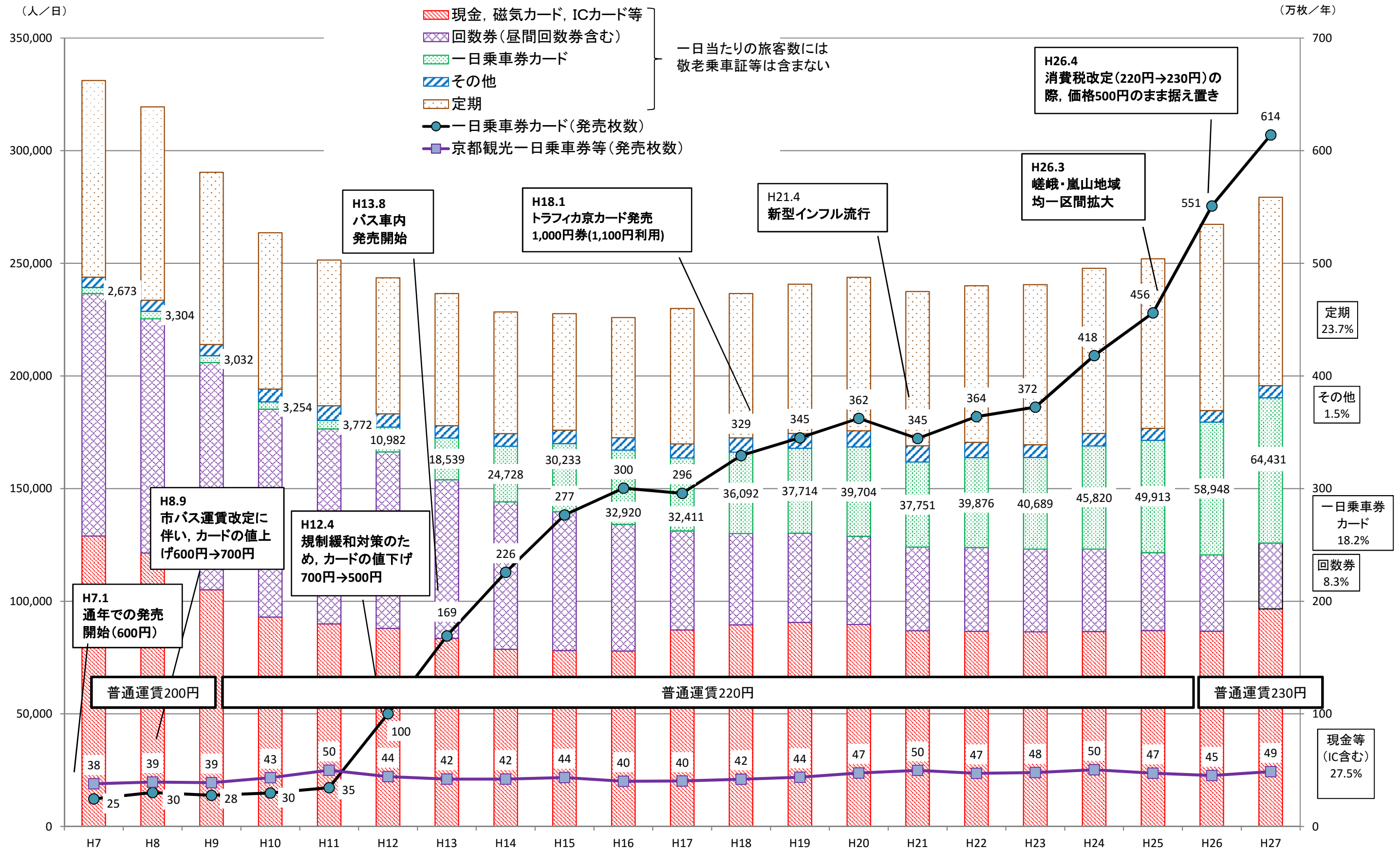
336,375人/日

平成27年度

352,936人/日

4.9%増

### 市バス・京都バス一日乗車券カード及び京都観光一日乗車券等の発売枚数について



## 市バス・京都バス一日乗車券カードの現行価格について

## 1 市バス・京都バス一日乗車券カードの利用価値の向上及び普通運賃との格差

## (1) 利用価値の向上

平成27年度と平成12年当時を比較して、

- ・路線やダイヤが充実したこと  
(車両数は750両から804両へ、系統数は71系統から83系統へ増加)
- ・均一運賃区間が拡大したこと  
(嵯峨・嵐山地域，岩倉・修学院地域，上賀茂・西賀茂地域が均一運賃へ)
- ・均一運賃区間内での京都バス利用が可能となったこと

により、走行キロ数が1.2倍となっており、一日乗車券カードの利用価値は格段に高まっています。

平成27年度		平成12年度	
市バス・京都バス均一区間		市バス均一区間	
走行キロ数		走行キロ数	
3,056万 <sup>キロ</sup>	÷	2,537万 <sup>キロ</sup>	≒ 1.20

## (2) 普通運賃との格差

市バス・京都バス一日乗車券カード(以下「一日乗車券カード」という。)は、平成12年に値下げを行って以降、普通運賃改定の際にも価格を据え置いており、普通運賃との格差が広がっています。

市バス普通運賃	一日乗車券カード
平成8年9月 運賃改定 200円 → 220円	平成8年9月 運賃改定に伴い値上げ 600円 → 700円
平成26年4月 消費税改定 220円 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">230円</span>	平成12年4月 規制緩和対策として値下げ 700円 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">500円</span> (* ) 4回乗車換算で125円
	平成12年以降、価格改定なし

(\* ) 一日乗車券カード1枚での乗車回数は、平成24年調査で平均4.1回。

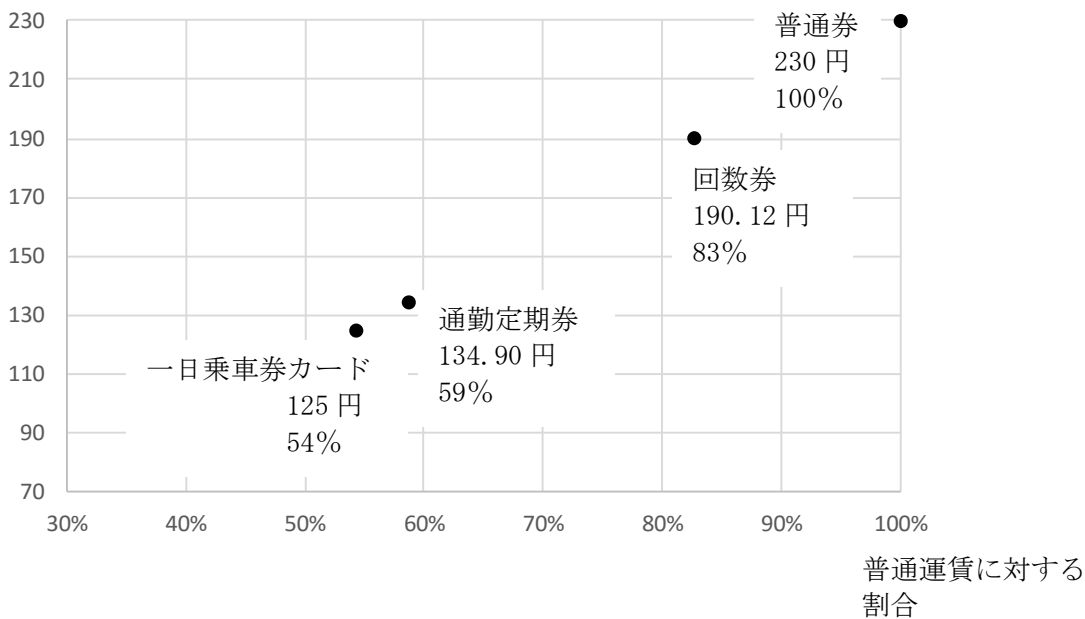
## 2 1乗車当たりの運賃単価及び割引率での格差

### (1) 運賃単価

一日乗車券カードは、運賃単価が極めて低く、回数券や非常にお得な定期券の運賃単価よりも安価となっています。

種 別	1乗車当たり 運賃単価	備 考
一日乗車券カード	125円	1枚で4回乗車計算
通勤定期券（1箇月）	134.90円	主に指定エリア内を自由に乗降できるフリー定期券
回数券	190.12円	全種類の平均で算出
普通券（現金等）	230円	

1乗車当たりの  
運賃単価（円）



### (2) 割引率

一日乗車券カードの割引率（45.6%（\*））は、お得な通勤定期券（1箇月）の割引率（33.0%）よりも高くなっています。

$$(*) 1 - (500円 \div 920円 [230円 \times 4回]) = 45.6$$